

第66回テーマ：
六甲の里山に生きる
一王山登山会



十善寺境内で朝の体操

講演内容

- 一王山登山会の歩み
…市民山の会とのつながりにふれながら60年の歴史をふり返ります。
- 登山会の活動
…毎日登山や年中無休ラジオ体操など現在の活動状況を紹介します。
- 一王山に生きる会員の姿
…高齢社会での生き方を探ります。

実施日：平成20年9月20日（土）
午後1時～3時45分
場 所：六甲山自然保護センター



講師：西井 豊さん
プロフィール

1928年生まれ79歳。兵庫県篠山市出身。慶応義塾大学経済学部卒業。公立中学教諭、神戸市教育委員会指導主事、住吉中学校長、楠中学校長歴任。1989年定年退職後私立須磨学園高校に、2003年まで勤務。2002年より一王山登山会会長。

台風一過の秋晴れ

台風13号の襲来を心配しましたが、直撃を逃れた好天で、午前中は予定通りトンボ観察会も開催しました。

初秋の六甲山の風情に恵まれて、市民セミナーの参加者は今期最高の43名。一王山登山会の会員26名の方々が大挙して参加されました。



記念碑台のススキ

親しまれ、頼りにされている西井さん

2002年に一王山登山会の3代目会長に就任された西井豊さん（80歳）にお話をお聞きました。篠山市ご出身の西井さんは、大学卒業後一貫して教育に携わってこられました。教育委員会で市民体育の指導をされた時に初代会長の高田耕治さんに出会って一王山登山会への関わりを深めました。

西井さんは70年におよぶ伝統を継続しながら、多彩な同好会活動なども発展させています。「会員と一緒に」をモットーに会員の自発的な活動を支えるために、日々率先して動いておられます。



十善寺参道への入口

高齢者が活躍する舞台

一王山登山会の活動の大きな特徴は、高齢者が主人公になってイキイキと活躍できることでしょう。「毎日登山」「ラジオ体操」「同好会」が活動の大きな柱となっていますが、会員はそれぞれ自分の

ペースで無理せず参加しています。おしきせの規則を設けず、「自由な参加」を基本にしています。皆の力で登山会の会館を造ったことも特筆できます。

六甲山の毎日登山は神戸が全国に誇れる活動ですが、その中でも類を見ない活動を展開されています。

活動の魅力について、西井さんはじめ会員の方々が声を揃えて「生活の一部となっている」と話されました。高齢者はもとより多くの人に、健全な生活習慣を営む秘訣を紹介していただきました。

「継続する力」を学びたい

六甲山麓の山筋で明治以来の毎日登山の伝統が継承されています。一王山登山会から代表的な活動を知ることができました。特に、市民団体が「継続する」ということを啓発されました。活動の魅力づくりや取り組み方について、納得し見習いたいことが沢山ありました。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

参加の感想 林 和俊さん

私は住吉に住まいしております。すぐ近くにおいて、恥ずかしながら、一王山、十善寺は初めて知りました。こんな近くにこんな素晴らしい活動があることに感嘆しました。おまけに、正調「でかんしょ節」まで聴かせていただきありがとうございます。



毎日、住吉川を歩いております。住吉川にまつわる項目を日々調べてアルバム作成しています。地元を知ることに楽しみに浸っています。本日は貴重なヒントを頂戴できて感謝です。

【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、灘区役所
公益信託自然保護ボランティアファンド、
公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会



第66回テーマ：六甲の里山に生きる



第66回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. あいさつ：13:00~13:20
2. 講演：13:20~14:50
3. 休憩：14:50~15:00
4. 質疑応答：15:00~15:30

講演

- 一王山登山会の歩み
- 登山会の活動
- 山に生きる会員の姿



ビデオ撮影する登山会メンバー

講演の挨拶（西井 豊さん）

一王山登山会の会員がたくさん参加されていますが、今日は一人でも多くの方に一王山のことを知っていただきたいと思って来ました。篠山市に生まれ育ちましたが、神戸市内の高校に勤務していた時に一王山の事を知りました。

今年毎日登山一万回を達成し、80歳を迎えます。



西井さん

講演内容

1. 一王山登山会の歩み



一王山周辺

■消えて行く山の面影

一王山（いちのうさん）は臨済宗永源寺派の十善寺の山号で、1057年に創設され、1333年に焼失して現在の地に移設された。昭和初期には参道に茶屋や水車小屋があり、自然豊かな土地だった。

現在では、周辺の雑木林は都市化の波が押し寄せ、住宅や一王山よりも高くそびえるマンション群に変わり、すっかり様変わりした。



北側から見た一王山

■初代会長と共に歩んだ歴史

1936年6月に初代会長の故高田耕治さんが5人で毎日登山を始めたのが、一王山登山会の創設。一時は700名を超える会員を擁したが第2次世界大戦で活動を中止。

1947年に登山会が復活し、翌年には神戸市民山の会の一つとして指定を受ける。ここから毎日登山のカウントがスタートした。



故高田耕治さん

阪神淡路大震災により、会員数が激減したが、1997年には復活50周年記念行事を開催できるまでになった。創設から数えると今年72年になる。

この間のほとんどを高田会長が支えてこられたが、100歳を迎えられた時に会長を辞任され、2004年に103歳で逝去。2002年第3代会長に西井さんが就任。

■自前の会館も作った

1959年には、登山会の活動の拠点となる登山会館が竣工。947名から100万円以上の資金を集め自力で建築。このような会館を持っているのは、神戸の11の山筋の中でも一王山登山会だけ。

100年間潰れない建物を作ってくれたおかげで、震災も乗り越えた。



登山会館

2. 毎日200名以上が一王山へ

■30年がかりで登山1万回

今朝4時頃から夜分まで多数の会員が一王山を訪れ、署名簿にサインをし、集計される。2万回を超えた人が1名。19歳から旅行に行く時も朝早く登ってから出かけ、翌日帰宅してからまた登って達成した。

1万回でも30年間かかる。500回以上になると、その後も続くと初代会長が言われていた。それを会員が実感しつつ活動している。



署名簿にサイン

■内容の豊富さが自慢

年中無休のラジオ体操は3つの時間帯に実施され、延べ200名以上が参加する。同好会は謡曲部、詩吟部、山岳部、投輪部とバラエティ豊か。時代の流れに対応し2002年にはパソコン同好会も発足した。

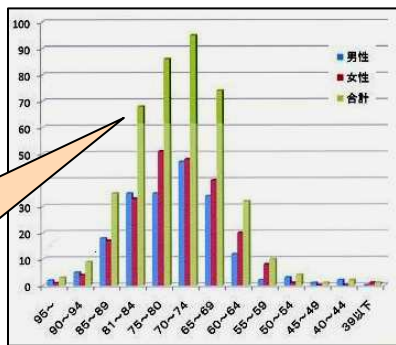
また、清掃活動や登山道管理等のボランティアや日頃の成果を発表する「おんまぐ展（一生懸命という意味）」が開催されている。



清掃活動

■最年長は99歳

会員の最年長は男性96歳、女性99歳。山では60歳は「青年」、70歳は「壮年」、80歳で「熟年」。統計では登山回数が多い人が長生きしている。



なんと、75歳以上が半数を占めている!

3. 山に生きる

■制約も義務もなし

60年間続いている理由は、いつでも好きな時に山に来るだけでよく、行事の参加は自由なこと。皆、それぞれ自分の関わり方で参加している。

■心身共に健康に

山で得られる何よりの幸せは健康。登山を始めてから体の調子が良くなった人が多い。家に閉じこもっていた人が、山で友人ができて孤独から解放された例もある。



談笑する山の仲間

♪♪正調「デカンショ節」を熱唱♪♪

参加者の米村さんが、篠山の中学校で西井さんの1年後輩だったと披露されました。正調デカンショ節のリクエストを受けて、全員の手拍子に乗ってお二人が熱唱されました。



デカンショ節

また、講演のビデオ撮影やパソコン操作を登山会のメンバーがサポートしていました。

パソコン担当の関口敏雄さんは、「私たち一王山登山会会員にとっては会の歴史や活動を客観的に知る機会となり、維持発展への意をさらに強くしました」と感想を述べられました。



関口さん

質疑応答

登山500回を超える時の心境は?：生活の一部になってしまう。一王山に行かないと一日が始まらない。朝ごはんを食べるのと同じ。

まとめ（西井さん）

会員にとって、登山は特別なものではありません。生活習慣として毎日山に登り、それが心と体の支えになっています。「かたよらない、こだわらない、とらわれない」をモットーとしています。我々は山に生かされているのです。

事務局より

一王山登山会は戦後に復活し、新たな歴史を重ねています。戦争による中断や災害による危機を乗り越えてこられた底力を感じます。今後ますます社会問題になるのは確実な高齢者の生き甲斐づくり、その先駆となるものです。登山会との出会いで刺激をいただいたので、私どもも社会的に貢献できる活動にしていきたいと思えます。

◆参考・配布資料など

- レジュメ「六甲の里山に生きる 一王山登山会」
- 一王山記念誌『山に生きる』



◆参加者の声～アンケートより～

- みなさんお元気で素晴らしい活動だと思います。
- こんな楽しい毎日があって神戸の方は幸せです。
- ざっくばらんな雰囲気よかったです。

西井さんへのお問い合わせは当会までお願いします。

◆参加者：43名（50音順・敬称略）

浅井 審一	天野 幸子	池田 憲二	伊澤 信雄
岩木美寿雄	大塚紀美子	尾島 鋼造	上山 幸夫
兼貞 力	衣笠 恵美	小林早代子	小柳 晴彦
澤田 和榮	澤田真理子	塩崎 隆一	新谷 邦雄
関口 敏雄	千古 武市	竹尾 重人	竹田 信子
武本 典三	堂馬 英二	堂馬 佑太	中藤 啓子
中村 伊吉	芳賀 雄彦	長谷川友彦	橋本いくゑ
浜岸 珠子	林 和俊	久門 恭子	福家美嘉子
眞智 俊明	松井 光利	村上 定広	村中 静夫
森田 道子	八木 浄	山下 昌人	吉田 保
米村 邦稔	鷺尾 正彦		